

第6回 高崎学検定

平成30年10月27日（土）実施



— 問題と解説 —

問 1

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

日高町にある日高遺跡は、1977～1978（昭和52～53）年に関越自動車道建設の際に発見された弥生時代の遺跡です。当時、この時代に【ア】を耕作した跡は静岡県の登呂遺跡以東では初めての発見であったことや集落、墓地跡など、弥生時代の人々の生活がまとまって発見されたことから大きな話題となりました。ここでは【イ】の水と谷筋地形を利用して不整形の耕作地を耕し主食を生産していました。現在、日高遺跡は史跡公園として整備が進められています。

ア （1）大麦 （2）小麦 （3）稲 （4）芋
〔正解 3〕

イ （1）烏川 （2）利根川 （3）碓氷川 （4）榛名山麓
〔正解 4〕

●解説

日高遺跡は1977～78（昭和52～53）年、関越自動車道建設の際に発見された弥生時代の遺跡です。静岡県登呂遺跡発見以来、初めて東日本で水田跡が発見され、隣接地には環濠集落、墓地跡なども確認され国史跡に指定されました。

発見された弥生時代の水田は、榛名山麓の谷筋の水を利用した不整形の水田で、浅間山の降下火山灰に覆われていました。現在史跡公園としての整備が進められています。

問 2

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

柴崎町の【ア】古墳は、4世紀頃の古墳です。副葬品の出土状況は明らかではありませんが銅鏡4面、短冊形鉄斧2個、鉄鑿1本、鉄製刀剣一括、土師器片9個が報告されています。この内の銅鏡一面には「□始元年陳是作鏡…」という銘文が記され、同じ鑄型で鑄造されたものが山口県竹島古墳、兵庫県森尾古墳からも出土し、銘文解読から中国三国時代の魏の年号である正始元年（西暦240年）であることが判明しました。『魏志倭

人伝』には、正始元年に魏から倭国に鏡などを賜うとあり、この鏡は【イ】の時代を考える上で重要な資料であり、出土品すべてが国の重要文化財となっています。

ア (1) 観音山 (2) 浅間山 (3) 将軍塚 (4) 蟹沢

[正解 4]

イ (1) 上野氏 (2) 卑弥呼 (3) 持統天皇 (4) 齐明天皇

[正解 2]

●解説

蟹沢古墳は4世紀頃の古墳です。出土品の銅製三角縁四神四獣鏡の年号が中国の三国時代の魏の年号である正始元年(西暦240年)となっており、中国の『魏志和人伝』に魏から倭国に金帛、錦罽、刀、鏡などを賜うとある年にあたることから、本三角縁四神四獣鏡はこれを送られた女王卑弥呼の時代を考える上で極めて重要なものとなっています。この銅鏡は国重要文化財となっており、東京国立博物館に収蔵されています。

問3

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

井出町・保渡田町にある国指定史跡保渡田古墳群中の八幡塚古墳は6世紀初頭の古墳です。墳丘長96メートルの大型前方後円墳で、周堀は馬蹄形で二重、内堀部に4基の中島が配置されています。

墳丘には葺き石が葺かれ、前方部前面中堤上に人物や、馬・鶏などの家畜、猪・水鳥など狩猟鳥獣をモチーフとした【ア】が出土しました。この内【イ】の存在は、すでにこの動物を使った漁法が古墳時代から行われていたことを示すものとして注目されました。

ア (1) 土偶 (2) 形象埴輪 (3) 円筒埴輪 (4) 彫刻埴輪

[正解 2]

イ (1) 鮎 (2) 鮭 (3) 鶇 (4) 鴨

[正解 3]

●解説

八幡塚古墳墳丘上には葺き石が葺かれ、前方部前面中堤上に人物類や、馬・鶏などの家畜、猪・水鳥など狩猟鳥獣をモチーフとした形象埴輪が配置されていました。これらの形象埴輪は、埴輪祭祀の一つの表現様式として注目されています。また、出土した埴輪には鵜形の埴輪があり、古墳時代から鵜飼が行われていた可能性を示す資料として注目されています。

古墳は6世紀初頭の築造で保渡田古墳群として国史跡に指定されており、出土品はかみつけの里博物館に収蔵されています。

問4

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

八幡町にある観音塚古墳は、6世紀末から7世紀初頭頃に築造された墳丘全長約97メートルで、東日本最大級の横穴式石室を持つ大型【ア】です。

1945（昭和20）年3月、防空壕掘削の際、偶然横穴式石室が発見され、銅承台付蓋碗、銅碗、金銅製透彫り杏葉・画文帯神獣鏡、刀剣、金環、馬具や大壺など約300点の副葬品と歯や骨などが発見されました。これら出土品は工芸技術の高さを示したものが多く、特に銅碗など【イ】の強いものも含まれ、信仰の地方への浸透をうかがうこともできます。

ア （1）円墳 （2）前方後円墳 （3）方墳 （4）前方後方墳
〔正解 2〕

イ （1）仏教色 （2）神道色 （3）道教色 （4）回教色
〔正解 1〕

●解説

八幡町にある観音塚古墳は東日本最大級の横穴式石室を持つ大型前方後円墳です。出土品は1945（昭和20）年3月、地元の人々によって偶然発見された大型横穴式石室内にありました。

主な副葬品には、銅承台付蓋碗・金銅製透彫り杏葉・画文帯神獣鏡のほか、刀剣、金環、鏡、刀子、棺の破片、馬具や大壺など約300点の副葬品が発見されました。副葬品は観音塚考古資料館に保管・展示されています。

問5

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

吉井町池にある多胡碑は、奈良時代初めの711（和銅4）年上野国14番目の郡として、多胡郡が建郡されたことを記念して建てられた石碑です。

碑文には「弁官符上野國【ア】緑野郡甘良郡并三郡内【イ】戸郡成給羊成多胡郡和銅四年三月九日甲寅宣左中弁正五位下多治比真人太政官二品穂積親王左大臣正二位石上尊右大臣正二位藤原尊」と刻まれています。

碑は、早くから古代日本の成立過程を示す重要なものであることが注目され、昨年、^{やまのうえ}山上碑、金井沢碑とともに上野三碑としてユネスコの「世界の記憶」に登録されました。

- ア (1) 片罡郡 (片岡郡) (2) 多野郡
(3) 群馬郡 (4) 勢多郡

[正解 1]

- イ (1) 百 (2) 三百 (3) 六百 (4) 八百

[正解 2]

●解説

多胡碑は、朝廷の左中弁^{たじひのまひと}多治比真人から上野国にあてて発行された、711年（和銅4）年3月9日宣旨の公文書を略記した建郡の碑と考えられています。

碑文には片岡郡から^{やまな}山等郷、緑野郡から^{むみ}武美郷、甘楽郡から^{おりも}織裳郷・^{からしな}韓級郷・^{やた}矢田郷・^{おおやけ}大家郷を分割し、新たに多胡郡を設けたことを示しています。

問6

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

上野三碑の一つ山上碑は、681年（天武天皇10年）に、【ア】の僧である「長利」が、母「黒壳刀自」のために建てた石碑です。完全な形で残る石碑としては、日本で最古のものです。

碑文は、長利の母方の先祖の「健守命」をはじめとする「^{さのみやけ}佐野三家」と、父方の先祖である「新川臣」をはじめとする系譜がそれぞれ記されています。また、漢字が日本語順（話し言葉）に配されているのも特徴の一つです。

碑は、7世紀中葉前後の築造とされる山^{やまのうえ}上古墳の近くにあり、併せて【イ】に指定されています。

- ア (1) 放光寺 (2) 上野国分寺
(3) 緑野寺 (4) 法隆寺

〔正解 1〕

- イ (1) 特別史跡 (2) 重要文化財
(3) ジオパーク (4) 特別天然記念物

〔正解 1〕

●解説

山上碑を建立した「長利」は、古代の寺院「放光寺」の僧侶と考えられます。同寺は、①石製鴟尾・塔心礎などの存在、②文字瓦「放光寺」と「方光」の印が押された多数の瓦の出土例、③全体の遺構の規模などから、山王廃寺跡（指定史跡／前橋市総社町）と推定されています。放光寺は、飛鳥時代後半には造営され、平安時代中期まで存続し、総社古墳群を築造した上野国の有力豪族の氏寺とする見方があります。

なお史跡は、都城や古墳・貝塚など基本的に移動が不可能なものを指定対象とし、山上碑及び古墳が指定されている特別史跡は、国が特に価値の高さを認めた国宝と同格の史跡です。ちなみに特別史跡は全国で62件のみです。

問7

山上碑文にある「佐野三家」^{さののみやけ}の説明として適切なものを選択しなさい。

- (1) 三家は中央政権の直轄地「屯倉」^{みやけ}のことで、「佐野三家」は栃木県佐野市域にあり、渡良瀬川流域を支配したと推定されている。
- (2) 群馬県高崎市の佐野地域にあった律令政府の直轄地で、その地を管理した豪族が「佐野三家」を名乗った。
- (3) 「佐野三家」は群馬県高崎市の佐野地域から、山名地域にかけて、勢力を保っていたと推定されている。
- (4) 『日本書紀』によれば、安閑天皇の時代に上野国に設置されたもので、大化の改新による「改新の詔」(646年)で廃止された。

[正解 3]

●解説

山上碑の碑文にある「三家」は、『日本書紀』に登場する「屯倉」とされ、中央政権の政治的・軍事的拠点と考えられています。「佐野三家」は漆山古墳(6世紀後半)に代表される高崎市佐野地域の古墳群と、山上古墳や山名古墳が所在する高崎市山名地域を含む、烏川兩岸を勢力範囲としたと推定されています。

また、佐野三家の設置年代はわかりませんが、『日本書紀』安閑天皇2年(535年)に、藤岡市を中心とした地域に緑野屯倉を置いたという記事があります。そして中央政権は、改新の詔^{みことのみり}(646年)において、ミヤケ制を廃止しています(700年大宝律令制定以前)。

問 8

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

吉井町黒熊に所在する黒熊中西遺跡は、上信越自動車道の建設に先立って実施された発掘調査によって発見された標高200メートル前後の尾根上に所在する遺跡です。調査の結果、多数の竪穴住居跡とともに、数棟の瓦葺の礎石建物からなる大規模な【ア】の跡が検出されました。天台宗の教団組織や最澄（伝教大師）との関わりが考えられるなど、古代における吉井町周辺の仏教の広がりや様相を教えてください。

そこからは多量の瓦とともに、建物の屋根を飾っていたと考えられる【イ】の写真の鬼瓦が出土しています。

- ア (1) 山岳寺院 (2) 浄土庭園
(3) 火葬墓 (4) 五重塔

〔正解 1〕

- イ (1) (2)



(3)



(4)



〔正解 3〕

●解説

吉井町に所在する黒熊中西遺跡は上信越自動車の建設に先立ち、1989～1990(平成元～2)年の2か年にわたって発掘調査が実施された遺跡です。鏑川によって形成された右岸河岸段丘上の最上面(標高約200メートル)に位置します。

調査の結果、古墳時代末期から平安時代後期の集落跡と平安時代の寺院跡が確認されました。寺院跡は寺院の堂宇と考えられる礎石建物6、7棟と工房や付属施設などあったと考えられるテラス(平坦面)遺構9面ほどから構成されています。また、寺院の近くに所在する平安時代後期の住居跡は寺院と何らかの関わりがあったことを窺わせます。礎石建物は基壇状に整地された上に建てられていて、その中には屋根を瓦で葺かれているものがありました。ここからは多くの瓦に混じって、数種類の鬼瓦が見つかっています。

近接する他の遺跡からも寺院跡が見つかることから、この地域には寺院が集中して建っていたこととなります。天台宗の東国への広がりとの関連も指摘されるなど、古代における在地寺院の在り様を伝えています。

問9

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

1108(天仁元)年、浅間山が大噴火しました。この噴火は有史以来最大の噴火で、『【ア】』という中央貴族の日記には、上野国の田島は壊滅したという国司からの報告があったと記されています。

実際、市内では低地などで発掘調査を行うとこの噴火により埋没した【イ】を高い確率で確認できます。これらの遺跡はこの時の【ウ】で覆われていますが、市内では厚さが10センチメートル以上あるところが多く見られます。当時はさらに厚く積もったと考えられていることから、未曾有の被害であったことがわかります。

- ア (1) 砂降記 (2) 中右記
(3) 文月浅間記 (4) 山吹日記

[正解 2]

- イ (1) 水田 (2) 畠
(3) 竪穴住居跡 (4) 掘立柱建物

[正解 1]

- ウ (1) 火砕流 (2) 軽石
(3) 泥流 (4) 溶岩流

[正解 2]

●解説

1108(天仁元)年の浅間山噴火は有史以来最大の噴火でした。市域にあった水田はその噴火による軽石で埋まり、甚大な被害を受けました。その状況を記した右大臣藤原宗忠の日記『中右記』には上野国司からの報告として、「(上野)国内の田畠はすでに壊滅し、一国の災害としてはいまだこのようなことは経験したことがない」と記されています。

1783(天明3)年にも浅間山は大噴火をしましたが、その状況は『文月浅間記』、『砂降記』、『山吹日記』などに記されています。『文月浅間記』は田町の俳人羽鳥一紅が著し、『砂降記』はあら町の延養寺の住職良翁が著し、『山吹日記』は奈佐勝臯が武蔵・上野・下野三国を旅した際の日記で、天明3年の噴火に関わる記述がみられます。

問10

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

上里見町から上大島町にかけての地域を拠点とし、初めて里見氏を名乗ったとされるのが新田義重の子義俊です。その子【ア】は1180(治承4)年、新田一族の中ではいち早く源頼朝に仕え、頼朝側近として源平争乱の時代にめざましい活躍をして里見氏を発展させました。里見氏はその後、越後や美濃などに進出し、そうした中には、江戸時代、滝沢馬琴によって記された『南総里見八犬伝』のモデルになった、【イ】を中心に活躍する里見氏も登場しています。

里見氏が拠点にしていたとみられる地域には、市指定史跡の里見城跡(下里見町)など里見氏との関わりも考えられる旧跡が残っています。また、上大島町には市指定重要文化財の上大島安養寺の笠塔婆があります。

これは角柱石の上に大きな笠石を載せた型式の供養塔で、【ウ】の銘があり、この種の供養塔では県内最古のものです。

ア (1) 義貞 (2) 義経 (3) 義成 (4) 義範
〔正解 3〕

イ (1) 安房 (2) 上総 (3) 下総 (4) 武蔵
〔正解 1〕

ウ (1) 延久元 (1069) 年 (2) 文永元 (1264) 年
(3) 永禄9 (1566) 年 (4) 天正18 (1590) 年
〔正解 2〕

●解説

平安時代末に東毛の新田荘を拠点にして活躍した新田氏は、義重の子の代になると西毛に進出し、長男の義範が山名に、次男の義俊が里見に拠点を構えました。義俊の子義成は、源氏と平氏の争いである治承・寿永の乱では1180(治承4)年に源頼朝の許に参陣し、以後活躍しました。その後、里見一族は全国に進出しますが、中でも戦国時代の享徳の乱での里見氏の活躍を描いた『南総里見八犬伝』のモデルで知られる安房の一族は著名です。

里見地域では、里見氏に関わるような地名や関連するとみられる城館跡などもありますが、その居館は明確ではありません。そうした中で、上大島町安養寺の笠塔婆は里見氏に関わるような年代の時期の数少ない石造物になります。

問 1 1

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

平安時代から末法思想の浸透により、神仏を習合した本地垂迹(様々な仏が日本の神として仮に姿を変えて顕れた)の思想が浸透しました。その教理が鎌倉時代に完成すると、神仏習合は一層進み、僧侶らが別当と称して神社の経営に深くかかわるようになります。その僧の寺を別当寺といい、【ア】では神殿まわりに巖殿寺がんてんじの諸堂が並び、【イ】と呼ばれる僧が一山を支配しました。八幡八幡宮には、別当寺として【ウ】

があり、真言宗の談所（僧侶養成寺院）として有力寺院でした。このように地方の中心になるような神社には別当寺が近くにあり、神と仏を一体化して信仰しました。

- ア (1) 五霊神社 (2) 烏子すないご稲荷神社
(3) 高崎神社 (4) 榛名神社

[正解 4]

- イ (1) 御師 (2) 神主
(3) 座主 (4) 住職

[正解 3]

- ウ (1) 安国寺 (2) 大聖護国寺
(3) 達磨寺 (4) 天龍護国寺

[正解 2]

●解説

中世では神仏習合が進み、榛名神社では巖殿寺が成立し、寺を束ねる役職として座主職がありました。歴代の座主の中には南北朝期に鎌倉の宗教界で活躍した頼印がいました。頼印は鎌倉公方足利氏満からことあるごとに祈禱を求められ、最後には関東護持僧に任じられるなど、公方の側近として侍ることになりました。

八幡八幡宮には別当寺として大聖護国寺がありました。天龍護国寺では日枝神社が祀られ、山名八幡宮でも七つの塔頭と呼ばれる坊があったことが知られています。このような神仏習合は、明治維新期の神仏分離まで続きました。

問12

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

古代の東山道は高崎市域を通過し、上野の東西を横断する基幹道路でした。この道は高崎市域では、南部を通る道と北部を通り国府付近を通過する2ルートがあったことが知られています。このうち後者の道の中世に踏襲したのが【ア】で、関東管領上杉氏の館があった板鼻と上野国府で

あり守護代長尾氏の拠点であった総社をつなぐ道として幹線道の一つになっていました。中世には、このほか、【イ】と信州をつなぐ【イ】街道（上道）も市域を通り、中山道が整備される近世以前からも高崎の地域は交通の要衝でした。

- ア (1) あづま道 (2) はまがわ道
(3) こくふ道 (4) すがや道

[正解 1]

- イ (1) 江戸 (2) 鎌倉 (3) 川越 (4) 府中

[正解 2]

●解説

古代の東山道で国府付近を通る「国府ルート」は中世には「あづま道」と呼ばれています。この道は源義経が奥州下りの時に通ったという伝承が各所に残り、中世にも利用されました。上野随一の交通の要衝であった板鼻から浜川・菅谷付近を通って国府をつないだこの道は、1509（永正6）年連歌師宗長が書いた紀行文『東路のつと』に、板鼻から浜川に移って連歌会を開いたことが記されているように16世紀初頭にも使われていたことがうかがえます。なお、こうした連歌会の主催者は地域の有力領主であることが多く、あづま道沿いが上野における文化の求心地であったともいえます。

問13

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

長野氏の拠点だった浜川町周辺には、長野氏に関わる城館じょうかんが多数築かれました。特に、【ア】沿いには250メートル間隔で配置され、箕輪城の防御線としての機能があったとされています。これらの城館跡の中で、【イ】は一辺約75メートルの堀切によって囲まれた方形の館跡で、1984～1985（昭和59～60）年に発掘調査され二時期にわたる掘立柱建物や井戸が検出され、良好に館跡が残っていることが確認されました。1988（昭和63）年には県史跡に指定され、その後史跡公園として整備されました。

ア (1) 井野川 (2) 烏川 (3) 長野堰 (4) 早瀬川
〔正解 4〕

イ (1) 北新波砦址 (2) 矢島砦址
(3) 寺ノ内館址 (4) 浜川館址
〔正解 1〕

●解説

長野氏の本拠であった箕輪城から南に4～5キロメートルの付近では、早瀬川が西から東に向かって流れていますが、左岸には長野氏に関わる石神の砦、北新波の砦、寺ノ内館、石神の砦などが250メートル間隔で配置され、箕輪城の防御線の機能があったと考えられています。これらの城館跡は圍場整備などで消滅しているものが多いですが、北新波の砦址は良好に館跡が残っていることが発掘調査で確認され、幅5メートル、深さ1.5メートルの堀や、建物の跡、井戸などが発見されました。1988（昭和63）年には県史跡に指定され、現在は史跡公園として土塁が復元されるなど整備されています。

問14 次の文章のうち、【 】に適するものは、下の選択肢のどれでしょうか。

旧高崎市の北西部に位置する上小埜町かみこぼなの辺りすなえごうは、古くは「須苗郷」と呼ばれていました。この地域の鎮守である烏子稻荷神社すないごで催される【 】は起源が1689（元禄2）年と伝えられ、伝統文化として今日まで引き継がれ、春の例大祭と大晦日に奉納されています。

(1) 獅子舞 (2) 太鼓踊 (3) 太々神楽だいだいかぐら (4) 田楽でんがく
〔正解 3〕

●解説

烏子稻荷神社は、783（延暦2）年に藤原金善という人が山城国（京都府）藤ノ森稻荷から分霊してこの地に祀ったと伝えられます。当神社のある旧高崎市の北西部の烏川左岸に位置する上・下小埜町の辺りは、古くは「須苗郷」

「須苗子」と呼ばれていました。この地域の鎮守であり、戦国時代には武田信玄から、江戸時代には高崎藩主からも寄進がされています。拝殿・本殿は樹木に覆われた上小塙稲荷山古墳の上に鎮座し、高崎市の重要文化財に指定されている本殿の裏には、横穴式石室の北北西へ向けた開口が見られます。また、当神社の太々神楽は、1689（元禄2）年に神主の山田和泉守が次男を新宅に出す際に、太々神楽の主人公になって引き継いで行くように命じて以来引き継がれ、春の例大祭と大晦日に奉納されています。

問15

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

井伊直政が箕輪から高崎へ移り築城に着手しましたが、近江国佐和山へ転じたため、高崎城は【ア】の時代になり完成しました。関東の城郭は【イ】を築城素質の基礎としたものが大部分で、高崎城の防御施設も【イ】と堀を巡らしたものでした。また、徳川幕府は天守を築くことを認めませんでしたので、【ウ】を築き天守の代わりにしました。

- ア (1) 安藤氏 (2) 酒井氏
(3) 戸田氏 (4) 藤井松平氏

[正解 1]

- イ (1) 石垣 (2) 狭間 (3) 土居 (4) 枿形

[正解 3]

- ウ (1) 稲荷櫓 (2) 御三階櫓 (3) 太鼓櫓 (4) 銅櫓

[正解 2]

●解説

井伊直政は、箕輪城の後継として和田城址を取り囲むような形で、新たに城を築く計画を立て工事に着手しました。高崎城と命名された新城の建設場所の和田は、関東と信濃・越後両国を結ぶ要衝の地でしたが全くの平地です。この地を選んだことにより領国経営には便利になりましたが防衛面では劣るため、これを強化するために高い土居（土塁）と広い水堀を巡らしました。加えて広大な城下町に、城と同じく土居と堀で取り囲んだ「遠構え」と呼ばれる防衛施設を設けています。

直政が行った築城工事は、直政の近江国佐和山への転封により中断されていましたが、安藤重博が再開しました。この時代徳川幕府は天守を築く

ことを認めなかったため、代わりになる御三階櫓を、本丸を囲む土居の上に四つの隅櫓と共に設けました。他にも城門を新設・強化するなど一連の工事により、高崎城の城郭工事を完成させました。

問16

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

井伊直政の所領のうちの旧群馬町地域は、直政が移封された後は高崎藩を中心に【ア】などの大名と幕府や旗本の領地や知行所に分散されました。この地域の中央を通る【イ】から各方面へ分岐する道筋が交叉し、その一つ板鼻道への三叉路にあった道しるべは、1694（元禄7）年に建てられたものです。道しるべの正面には「元禄七年向北ハ志ふかわ道」、左面に「左たかさき道」、右面に「右いたはな道」と刻まれており、裏面には中里村の【ウ】が刻まれています。

- ア (1) 伊勢崎藩 (2) 渋川藩 (3) 七日市藩 (4) 前橋藩
[正解 4]
- イ (1) 越州道 (2) 佐渡街道 (3) 十石街道 (4) 三国街道
[正解 4]
- ウ (1) 宿問屋名 (2) 建立者3名の名前
(3) 高崎藩道中奉行 (4) 寺子屋師匠名
[正解 2]

●解説

旧群馬町は井伊直政が高崎城主のときは高崎藩領の一部でしたが、直政が近江国佐和山へ転封になると、高崎藩を中心に前橋藩・沼田藩・安中藩など大名の御領分や幕府の御料所と旗本の御知行所に分割されます。地域の中央を高崎宿から分岐して越後国寺泊（新潟県長岡市寺泊）を結ぶ三国街道が通り、この街道と交差するように各方面へ向かう道がありました。その一つが中山道の板鼻宿へ向かう板鼻道で、分岐点の三叉路には四角柱の道しるべが建てられていました。正面には「元禄七年向北ハ志ふかわ道」と建てられた1694年が記され、左面に「左たかさき道」、右面に「右いたはな道」と方面が刻まれています。そして、裏面に「中里村、建立者三名の名前」が刻まれた珍しい道標です。

問17

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

中山道の本庄宿から分岐し、藤岡宿を經由して信濃国借宿（現軽井沢町）で中山道に戻る【ア】は中山道の脇往還で、換金作物が取引される輸送路として利用されていました。吉井宿でつくられた【イ】は、宿場町という地の利を活かし、旅人のロコミにより評判が評判を呼び、江戸時代を通じて特産物でした。

- ア (1) 臼田街道 (2) 鑓^{かぶら}街道
(3) 佐久街道 (4) 下仁田街道

〔正解 4〕

- イ (1) 麻織物 (2) 砥石
(3) 火打ち金 (4) 和紙

〔正解 3〕

●解説

下仁田街道は、中山道本庄宿から分かれ信濃国借宿（長野県軽井沢町）で中山道に戻る脇往還ではありましたが、利便性を追及し険しい道を選んだルートとして多くの往来がありました。女性が通りやすいということから「上州姫街道」とも呼ばれていたようです。街道周辺が産地の生糸・麻・楮・煙草などの換金作物を運ぶ輸送路として機能していました。

この街道の宿場の一つ吉井宿に生まれた火打ち金は、江戸時代後期から明治時代にかけてのトップブランド品でした。ここの火打ち金は木片に高度な技術で焼きを入れたハガネの部分を挟む「かすがい方式」と呼ばれ、刀鍛冶孫三郎の女房りうが作り始めたといわれます。「吉井本家女作」や「吉井本家請合」の焼印が打たれていました。明治時代の後半になると、火打ち金の便利さを超えるマッチが登場し廃れてしまいます。

問18

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

榛名地域には古くから信州へと続く街道が通っていましたが、江戸時代になると信州道【ア】として整備され、中山道の脇往還としての役割を果たすようになりました。

当初は烏川の左岸を通る【イ】だけでしたが、江戸時代中期には右岸を通る神山道の整備も図られ、多くの人々の通行で賑わうようになりました。それぞれの街道には宿が開かれ、決まった日には市が立ち、米、塩、炭、煙草、茶などが売り買いされていました。

- ア (1) 銅街道 (2) 大戸通り
(3) 岡街道 (4) 御幸通り

[正解 2]

- イ (1) 室田道 (2) 軽井沢道
(3) 三ノ倉道 (4) 金古道

[正解 1]

●解説

榛名地域には古くから信州へと続く街道が走っていました。古くは信濃路道、信州道、草津道などと呼ばれていましたが、幕藩体制が整備されていく中、信州道大戸通りと呼ばれ、中山道の脇往還としての役割を果たすようになりました。

当初は烏川の左岸を通る室田道だけでしたが、江戸時代中期には右岸を通る神山道が整備されます。右岸側は険しい崖が続く地形のため、工事は楽ではありませんでしたが、最大の難所である上里見の「猿落」(猿が落ちる程、急峻であるという意)が改修されたことにより、三ノ倉までの道筋が開かれました。

室田道、神山道にはそれぞれ室田宿、神山宿が置かれ、高札場、本陣、脇本陣、問屋場などが整う中、木材、絹などの物資が流通するとともに多くの人々の往来で賑わいました。

問19

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

倉賀野町にある倉賀野河岸は、利根川流域で大型船が遡れた最上流の河岸で、江戸時代には中山道、三国街道などの主要道に加え、鐺川、烏川、神流川流域など関東内陸部からの物資もこの河岸を利用して江戸を結んだ大動脈の起点でした。

全盛期には76の業者が、米300俵積の大舟を含め150艘余りの舟を数え、終日活気にあふれていました。江戸（日本橋小網町）への下り荷で多いのは【ア】・麦・煙草・麻・生糸・雑穀・織物・木材・紙など、上り荷で多いのは【イ】・茶・油・干魚・小間物・砂糖などです。下り船は3日～4日、上り船は17日～18日かかったといえます。

ア (1) 石材 (2) 建具 (3) 煙管 (4) 米
〔正解 4〕

イ (1) 野菜 (2) 大豆 (3) 塩 (4) 陶器
〔正解 3〕

●解説

1590(天正18)年8月、徳川家康は江戸城に入城しましたが、その後江戸の人口が次第に増加し、江戸の町の消費需要や治水のため再三にわたり利根川流域の河川改修が行われました。

内陸部にある倉賀野は、利根川を航行する大型船の通行が可能な最上流部にあり、中山道、北国街道など内陸からの物資輸送が集まる結節点であったことから、江戸時代は倉賀野河岸として繁盛しました。

1783(天明3)年の浅間山火山活動による火山灰堆積により、改修を実施して洪水を抑えるとともに舟運機能を確保しましたが、浅瀬の被害は深刻化しました。

水運は明治時代にも一時利用されましたが、航路維持の困難性や陸路輸送の充実にともない衰退しました。

問20

次の文章のうち、【 】に適するものは、下の選択肢のどれでしょうか。

新町宿は【 】、落合新町の二村によって構成され、継立御用をつとめる問屋場は両村に一軒ずつ存在しましたが、本陣二軒と脇本陣一軒は落合新町に所在していました。【 】には一軒も存在しなかったことは、宿場として成立したのが落合新町より後であったことに原因があるのではといわれています。

- (1) 立石新町 (2) 笛木新町 (3) 橋場新町 (4) 宮本新町

[正解 2]

●解説

新町は本庄宿へ2里、倉賀野宿へ1里半の距離ですが、神流川と烏川という2つの川に挟まれた、道中に障りのある地域であったためか、1651（慶安4）年に落合新町が伝馬役を命じられました。2年後には笛木新町も伝馬役を命じられ、この2村が合体して成立した新町宿は、中山道では最も「新しい宿」でしたが、「上野七宿」の江戸からの玄関口として栄え始めます。

本陣は小林家と久保家、脇本陣は三俣家が務め、いずれも落合新町に所在していましたが、笛木新町には本陣や脇本陣が存在しませんでした。宿場成立が落合新町より後であったことによるのではないかといわれます。

金沢藩前田家をはじめ諸藩が届けた印鑑簿が残され、参勤交代で多くの大名が宿泊・休憩したことを伝えています。

問21

次の文章のうち、【 】に適するものは、下の選択肢のどれでしょうか。

新町しんまちにある【 】稲荷神社はかわいい御朱印帳やラインスタンプなどで著名になっていますが、滝川一益と北条氏直との神流川合戦に勝利したことを記念して北条氏が建立したといえます。重い病気に苦しみながらも回復した娘に白狐ひょうういが憑依し、その神託を地域の人びとが信じるようになり、その娘の名を社名にしたといえます。境内にある1820（文政3）年奉納の武者絵、1875（明治8）年奉納の遊女参詣の絵馬が市指定重要有形

民俗文化財、1823（文政6）年に造立した水屋と手水鉢石が市指定重要文化財です。

- (1) 於菊 (2) 於吉 (3) 於艶 (4) 於美代

[正解 1]

●解説

於菊^{おきく}稲荷神社はかわいいキャラクターをつくり出し、若い女性を中心に人気があり、市指定文化財の武者絵と遊女参詣の絵馬の展示や水屋の見学などで、活気にあふれています。『新町町誌』によりますと、神流川合戦後に北条氏が滝川氏が建立したといえます。妓楼大黒屋所属の於菊が病気になり、稲荷神社境内に小屋住みをしていましたが、神がかりになって発した言説が的中して近隣の信仰を集め、於菊稲荷と称するようになったといわれています。角淵の娘という伝承もあります。

問22

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎藩主【ア】は、多くの人材を登用し高崎の経済・文化・武芸を発展させました。新たに採用し郡奉行に就かせた大石久敬^{おおいしひさたか}に命じ調査・作成させ、書名も自ら命名した『【イ】』は、体系的な農政書として知られます。また、儒者^{かわのべかん}の川野辺寛が【ア】から命じられて『【ウ】』をまとめています。この本のお蔭で江戸時代の高崎が伝わり、寛は高崎における地方史研究の祖といわれます。

- ア (1) 安藤重長^{あんどうしげなが} (2) 酒井家次^{さかいいえつぐ}
(3) 松平(大河内)輝和^{まつだいら おおこうち てるやす} (4) 間部詮房^{まなべあきふさ}

[正解 3]

- イ (1) 広益国産考 (2) 地方凡例録
(3) 田畑筆録 (4) 農業全書

[正解 2]

- ウ (1) 学書篇 (2) 上野名跡考
(3) 高崎志 (4) 高崎藩概誌

[正解 3]

●解説

高崎藩主大河内松平家の四代目松平輝和は、藩内外から人材を数多く登用しました。その中には全国的にも名高い、「日本の剣豪三十傑」に指折られる剣術家寺田五右衛門や、「寛政の五鬼」と称された儒学者市川鶴鳴^{いちかわかくめい}、そして農政学の^{いんせいがく}大石久敬がいます。久敬は輝和に郡奉行^{ごおりぶぎょう}として採用され、命じられて『地方凡例録』^{じかたばんれいろく}を編纂しました。田畑あるいは年貢のことなど地方に関する慣例や取扱の方法について記載された著作です。江戸時代における地方支配の最も体系的な著作とされる規範書で、明治初年の地租改正、地方制度の整備についても活用されました。また、藩士で儒者の川野辺寛に命じて編纂されたのが『高崎志』です。江戸時代における高崎に関する地名、郭や社寺、あるいは町の起源や来歴などを記した書物です。高崎城下を中心とした城付き領の風土記といわれるもので、寛は高崎における地方史研究の祖といわれます。

問 2 3

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

藩主が大河内松平家時代の高崎藩領は、城下の周辺にあった城付き領の他に、越後国一ノ木戸と下総国銚子及び武蔵国【ア】の、三か所の飛び領で構成されていました。【ア】領は、大河内松平家の菩提寺である【イ】があることから、藩主松平（大河内）輝貞が希望して与えられた、異例ともいえる領地でした。

ア (1) 岩槻 (2) 鴻巣 (3) 野火止 (4) 飯能
[正解 3]

イ (1) 寛永寺 (2) 喜多院 (3) 善福寺 (4) 平林寺
[正解 4]

●解説

高崎藩は藩主が度々交代し、その都度所領に変化がありました。大河内松平家が藩主の江戸時代後半になると、石高8万2千石の所領は城下を取り巻く城付き領約5万石と3か所の飛地（飛び領）で構成されます。

飛地のうち越後国一ノ木戸領（新潟県三条市付近）は約2万5千石と大き

く、下総国銚子領（千葉県銚子市）は約5千石でしたが、利根川水運や漁業・醤油などの産業で潤う高崎藩にとって有益な地方でした。武蔵国野火止領（埼玉県新座市野火止）は、石高が約2千石と小さい規模でしたが、大河内松平家の菩提寺・墓所である平林寺が建つ特別な場所のため、藩主松平（大河内）輝貞が希望して与えられた異例の所領でした。輝貞が「知恵伊豆」松平信綱の孫であり、五代将軍徳川綱吉の信望が厚かったためと考えられます。

問24

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

1868（慶応4）年1月に京都で戊辰戦争が勃発すると、戦乱はまたたくまに関東に及んできました。上州諸藩は、中山道を進軍する「東山道総督府」いわゆる官軍に従います。

一方、幕府の勘定奉行で主戦論を主張していた小栗忠順は、江戸を離れ、その領地の一つである群馬郡【ア】に居を移していました。3月に高崎に入った官軍は、高崎藩・安中藩・【イ】に、小栗らを捕えさせ、斬首させます。

ところでこの頃、佐幕側の会津藩兵が利根沼田地方をうかがっていたため、官軍は上州諸藩などを派遣します。5月には会津藩との【ウ】があり、高崎藩等参戦した藩でも若者が命を落としました。やがて、戦線は越後国（新潟県）から東北地方に移っていきました。

- ア （1）川浦村 （2）権田村
（3）下斉田村 （4）三ノ倉村

[正解 2]

- イ （1）前橋藩 （2）沼田藩 （3）館林藩 （4）吉井藩

[正解 4]

- ウ （1）三国峠の戦い （2）那珂湊の戦い
（3）世直し一揆 （4）下仁田戦争

[正解 1]

●解説

1868年（慶応4）1月に勃発した戊辰戦争に、高崎も無関係ではありませんでした。高崎を含む上州諸藩は、中山道を東進する「東山道総督府」いわゆる官軍に従います。

一方、主戦論を主張し、幕府の勘定奉行を罷免された小栗忠順は、当時群馬郡権田村（高崎市倉渕町権田）に居を移していました。官軍は、高崎・安中・吉井の3藩に小栗主従を捕えさせ、斬首させます。

また、その頃旧幕府側の会津藩が、利根沼田地方をうかがっていたため、官軍は、高崎・吉井・前橋・沼田・安中・七日市・伊勢崎・佐野（栃木県）の連合軍を率いて北上しました。やがて上越国境の三国峠付近で、会津藩上出島町奉行町野源之助率いる会津藩兵と、上州諸藩等連合軍との間に戦端が開かれます。いわゆる三国戦争です。この戦いでは、深田竹次郎（高崎藩士）、吉田善吉（吉井藩農兵）のほか、町野久吉（会津藩士・源之助の弟）が戦死しています。

問25

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

1868（慶応4）年6月、西郷隆盛と勝海舟の間で江戸無血開城がなりましたが、不満を持つ旧幕府側の武士たちが、徳川慶喜が蟄居した上野寛永寺を拠点に集まり「彰義隊」を組織して新政府軍と戦います。いわゆる【ア】です。

この戦いに、高崎藩から脱藩した藩士たちが40人以上参加して【イ】を組織し、旧幕府側について戦いました。

しかし、新政府軍を指揮した大村益次郎による頭脳的な戦略により、彰義隊は壊滅しました。やがて高崎藩の脱藩藩士たちも高崎に戻り、明治を迎えることになりました。

- ア （1）上野戦争 （2）鳥羽伏見の戦い
（3）箱館戦争 （4）北越戦争

〔正解 1〕

- イ （1）白虎隊 （2）新懲組 （3）高勝隊 （4）赤報隊

〔正解 3〕

●解説

1868年（慶応4）1月、大坂城から海路を脱出した徳川慶喜は、江戸城から上野の寛永寺に退去・謹慎します。その後、西郷隆盛と勝海舟の会談を経て、4月11日に江戸城が明け渡されますが、これに不満を持ったのが、幕府強硬派の彰義隊士など約千人でした。その頭取は渋沢成一郎（渋沢栄一の従兄）、副頭取は天野八郎忠告（南牧村出身）が務め、これに諸藩からの脱藩者も合流しました。やがて慶喜は水戸に移りますが、彰義隊は新政府側との対決色をあらわにしていました。

同年5月15日朝、新政府軍が攻撃を開始し、長州藩の兵学者であった大村益次郎（1824～1869年）の巧みな戦術とアームストロング砲の威力により、夕方には彰義隊は駆逐されます。これがいわゆる上野戦争です。

ところで、彰義隊には高崎藩から脱藩した「高勝隊」が合流していました。

当時藩から42人が脱藩して、その多くが高勝隊に参加したといえます。ちなみに脱藩した黒川直清（貫一）は、幕末の動乱を生きのびて、維新後に倉賀野村戸長になっています。

問 2 6

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

1868（慶応4）年6月17日、維新政府は【ア】県を設置し、初代知県事に彦根藩出身の大音龍太郎^{おおどりゅうたろう}を任命しました。県庁は旧【ア】陣屋に設置され、旧幕府領や旧旗本領などの支配を担いました。上州人は気風が荒いとされたため、政府は大音に強硬な政治を実行させました。

やがて、大音の政治に不満を持つ県民が【イ】したことを発端に、同年12月には、大音はその職を解かれてしまいます。

次に知県事となったのが徳島藩出身の小室信夫^{こむろしのぶ}です。彼は、凶作による物価上昇を抑えるため、佐久米などを確保するとともに、【ウ】を発行して、県内の安定に努めました。

- ア （1）高崎 （2）群馬
（3）岩鼻 （4）熊谷

〔正解 3〕

- イ (1) 高崎城大手門前に嘆願書を提出
(2) 東京の目安箱に訴状を提出
(3) 天皇行幸の列に嘆願書を提出
(4) 県庁に籠城

[正解 2]

- ウ (1) 銅銭 (2) 県債 (3) 手形 (4) 紙幣

[正解 2]

●解説

大音龍太郎は、近江国伊香郡大音村に生まれ、各地で遊学後、上野国箕輪村の龍門寺に3年間身を寄せました。上野国の情勢に詳しいと判断され、同寺の住職道介（後の牧野再龍）、岩倉具視の仲介で、東山道総督府巡察使となりました。その後、大音は初代岩鼻県の知県事となるも、維新政府の命令を遵守した過激な政治で「草刈大音」「首斬大音」とも呼ばれました。解任後、西南戦争の際には、西郷隆盛と呼応したとされ、龍門寺や法峯寺に隠れ、失意の内に東京で没したといわれています。

小室信夫（信太夫、初名利喜蔵）は、丹後国与謝郡岩滝村の豪商・山家屋の一族で生糸縮緬商の家に生まれました。青年期には、京都で尊攘派の志士と交わり、足利氏木像梟首事件に関わって京都守護職の会津藩に追われて逃亡します。やがて徳島藩に幽閉されましたが、維新後に30歳で岩鼻県の第2代知藩事に就任しました。小室は、当初から農民側の意見に耳を傾け、政府民部省や高崎藩との仲介役となるも、間もなく徳島藩大参事となって転出し、民撰議員設立建白に加わりました。その後実業界へ轉身し、日本郵船会社理事、貴族院議員などを歴任しました。

ちなみに目安箱は江戸時代にも設置されましたが、施政に関するものではなく、役人等の告発などに限られていました。一方維新政府は、東京に目安箱を設置し、主に旧幕府の政治への投書を受け付けました。そこで、岩鼻県民が大音県政への糾弾を投書し、機を同じくして大音が罷免されたのです（投書が原因かは不明）。このことから、岩鼻県に目安箱を設置した小室に対し、高崎藩旧領の農民が、減税への期待を抱いたという考え方があります。

問 27

次の文章のうち、【ア】～【エ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

現在は禁煙の勢いが加速して、たばこを吸わない人が多くなっています。しかし、以前は高崎地域で葉たばこが多く生産されていました。山名の光台寺たばこ、【ア】、吉井のたばこは、質のよいことで有名でした。

昔は民営で、たばこを商う商人や、刻みたばこをつくる職人が多くいました。田町から寄合町への通りには【イ】といわれる横丁があり、葉たばこを扱う人、たばこ製品をつくる人、たばこを買う人で賑わっていました。

政府はたばこの収益に目をつけ、専売制に移行するようにしました。1875（明治8）年、煙草税則を定め、栽培・品質検査・収納を厳しくしていきました。そのため多野地域のたばこの産地であった【ウ】に煙草専売所がつくられ、管理していくようにしました。

1904（明治37）年、製造煙草専売法が施行され、同年8月、八島町に【エ】が設けられました。煙草製造は、完全に民営から国営に移り、税収の大きな財源となりました。その後、この部門は鶴見町からさらに高松町に移りました。

- ア （1）倉渕のたばこ （2）館のたばこ
（3）剣崎のたばこ （4）岩鼻のたばこ

〔正解 2〕

- イ （1）^{たばこ}煙草通り （2）刻み横町
（3）^{たばこ}烟草横丁 （4）きせる横丁

〔正解 3〕

- ウ （1）日高 （2）沼田 （3）新町 （4）吉井

〔正解 4〕

- エ （1）高崎煙草製造所 （2）高崎刻み煙草製造所
（3）高崎葉巻煙草局 （4）高崎紙巻煙草製造局

〔正解 1〕

●解説

高崎はたばこの産地でした。丘陵や山すその水はけの良い土地はたばこの栽培に適しており、周辺の農家ではたばこを栽培し、高崎のまちでたばこを製品にして売っていました。館のたばこ、山名の光台寺たばこは、名品として知られていました。

寄合町の小路は「烟草横町」^{たばこばちよう}として知られ、たばこを刻んで製品にする人や買う人たちが賑わっていました。昔は「刻みたばこ」が多く、のちに「紙巻たばこ」が多くなりました。

政府はたばこの収益に目をつけ、1875（明治8）年、煙草税則を定め、栽培・製造・販売を厳しくしていきました。たばこの産地のひとつであった吉井に煙草専売所がつけられました。

1904（明治37）年、製造煙草専売法が施行されると、八島町に高崎煙草製造所がつけられました。この頃できた『高崎繁昌記』によると、たばこ業者が9人ほど、たばこ商人が93人（7人は卸兼業）、たばこを刻む職人が53人、と記録されています。

しかし、製造煙草専売法によって、たばこの製造は完全に民営から国営に移り、民間による高崎のたばこ製造は終わりました。たばこをつくる専売局は鶴見町に移り、さらに高松町に移りました。この頃は専売公社となっていました。

問28

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

1870（明治3）年に高崎藩立の【ア】が宮元町に設立されました（その後檜物町に移転）。群馬県における初めての【ア】で、生徒の中からは日本を代表するキリスト教思想家の内村鑑三や「憲政の神様」【イ】ら偉大な人物を多数輩出しています。

ア (1) 英学校 (2) 儒学館 (3) 兵学校 (4) 遊学館
〔正解 1〕

イ (1) 板垣退助^{いたがきたいすけ} (2) 尾崎行雄^{おざきゆきお}
(3) 中村孝也^{なかむらこうや} (4) 深井英五^{ふかいえいご}

〔正解 2〕

●解説

1870（明治3）年に群馬県における初めての英語学校として高崎藩英学校が開設されました。静岡藩士作楽戸痴鶯^{さくらくどちおう}を教授として雇い、50人を選抜し宮元町の石上寺跡で開校、その後直ぐに檜物町^{ひものちょう}に校舎を建て本格的授業を始めます。官立の外国語学校が東京ほか全国7か所に開設されたのはその3年後のことで、全国に誇れる画期的な事業でしたが3年余りで廃校になります。

早期設立もさることながら、誇れることは我が国を代表する人材が多数輩出されたことです。高崎藩関係からは大河内輝剛（高崎藩知事大河内輝声の弟、衆議院議員、歌舞伎座社長）、内村鑑三（キリスト教思想家、聖書研究家）張三石（オランダ人医師ポンペや将軍侍医松本良順門下、名古屋大学医学部付属病院の前身義病院の院長兼教授）らがあり、藩関係以外では尾崎行雄（「憲政の神様」と称された衆議院議員）や新井領一郎（日米生糸貿易の創始者、ジャパン・ソサエティ創設者の一人）がいます。

問29

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎神社は高崎総鎮守【ア】大権現と尊崇され、オクマンサマと親しまれていましたが、1907（明治40）年8月に町内の28社とその末社を合併して高崎神社と改称しました。さらにその後も合併して、合計36社を統合しました。1885（明治18）年に郷社、1925（大正14）年に県社に昇格しました。1929（昭和4）年に島根県から美保神社の分霊を奉祭し、えびす講を始めました。

中山道の宿駅の上町にある飯玉神社は、亀形をした自然石を祀り、その後平安時代に坂上田村麻呂が宮殿を造営したと伝えています。社殿は1866（慶応2）年に竣工したことが神社所蔵文書から判明し、翌年に奉納された算額とともに市指定重要文化財です。天下一角兵衛稲荷流獅子舞、太々神楽が奉納されており、1785（天明5）年に脇本陣をつとめた七代須賀庄兵衛の妻が神輿を奉納し、地域住民の崇敬が篤かったことを物語っています。1909（明治42）年に駅内の神社三社を合併し、さらに翌年に二社を合併して、【イ】神社と改称しました。

ア (1) 赤城 (2) 稲荷 (3) 熊野 (4) 八幡

[正解 3]

イ (1) 倉賀野 (2) 新町 (3) 豊岡 (4) 吉井

[正解 1]

●解説

高崎神社は熊野神社に町内の28社を合併して改称しました。熊野神社は鎌倉時代に和田小太郎正信が相模国から和田城に勧請したといひます。井伊直政が高崎城を築いた折に移転し、高崎の総鎮守としました。

金融恐慌以後の長引く不況のもとで高崎を活性化させようと、高崎実業組合連合会が、事代主神(えびす様)を祀るえびす社総本宮の美保神社(島根県松江市)からえびす様を分霊しました。事代主神は大国主神(だいこく様)の子どもなので、高崎神社境内の大国神社に1929(昭和4)年に祀りました。11月19～20日に大国神社でえびす講市をはじめ、以後毎年えびす講を開催し、太平洋戦争中は中断しましたが、戦後復活し、商業都市の高崎の祭典として、商店街の大売り出し、富くじ、えびす袋、千社札めぐりなどがにぎやかにおこなわれました。

倉賀野宿の飯玉社は亀形の自然石が神体とされ、上野国を開いた豊城入彦命が祀ったといひます。その後、桓武天皇から命じられた蝦夷征討に成功した帰途に参拝した坂上田村麻呂が社殿を造営しました。『上野国神名帳』に大国玉明神とあります。さらに倉賀野氏の祖倉賀野三郎高俊が鎌倉時代に宮殿を造営し、室町時代にも倉賀野城を築いた倉賀野盛勝が宮殿を造営したという、古い由緒を持っています。江戸時代には近隣7か町村の総鎮守として尊崇され、1877(明治10)年に大国魂神社と改称し、1910(明治43)年に倉賀野神社とさらに改称しました。

問30

次の文章のうち、【ア】～【カ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

明治10年代(1877～1887)の前半期、群馬県では明治新政府に対する色々な問題が、同時に起こりました。それも高崎を中心としていました。明治新政府は、新しい支配体制を確立するため、住民の意向を聞かず、いろいろな政策を押し付けてきました。

この頃、藩閥政府の有司専制政治に対して、国会を開設し、国民の意見を

政治に反映させようとする大政治運動が盛んになりました。【 ア 】です。高崎には群馬県最大の政社である【 イ 】が結成され、活発に国会開設請願運動を繰り広げ、政談演説会も多く開かれました。

同じ頃、高崎の北部にあたる榛名山麓の農民は、山麓に広がる野原に入会権を持ち、村々の【 ウ 】として、草刈りや薪取りをして日々の生活を送っていました。しかしこれが^{まぐさば}秣場だけでは利用が許されず、植林・牧畜・開墾を行うことが決められたのです。毎日やっていた草刈りや薪取りができなくなり、生活ができなくなった80余か村、数千人もの農民は、大挙して集まり大規模な反対運動を起こしました。これが【 エ 】です。

これらの運動にかぶさるようにして起こったのが、県庁の位置をめぐる運動で、いわゆる【 オ 】です。高崎の住民は、県庁を戻してくれるよう県令【 カ 】に嘆願、交渉し、前橋に出かけデモ行進をしました。行動は整然としていて、暴力行為などはしませんでした。利根川を渡る橋銭もきちんと払いました。

これに対し、前橋の住民も、戸長役場から食事を差し入れてくれたり、お寺に泊めてくれたりしました。住民同士はわだかまりがなく、隣りまちなよしみをわきまえていたのです。

- ア (1) 自由立憲運動 (2) 自由国会運動
(3) 自由民主運動 (4) 自由民権運動

[正解 4]

- イ (1) 大成社 (2) 有信社 (3) 立志社 (4) 愛国社

[正解 2]

- ウ (1) 領有地 (2) 共有地 (3) 占拠地 (4) 所屬地

[正解 2]

- エ (1) 大野秣場騒動 (2) 相馬山秣場騒動
(3) 中野秣場騒動 (4) 榛名湖秣場騒動

[正解 3]

- オ (1) 県庁移転反対運動 (2) 県庁誘致賛成運動
(3) 県庁設置請願反対運動 (4) 県庁移転請願反対運動

[正解 1]

カ (1) かとりもとひこ 楫取素彦
(3) こむろしのぶ 小室信夫

(2) あおやただす 青山 貞
(4) かわせひではる 河瀬秀治

〔正解 1〕

●解説

明治政府は、政権を確実なものにするためにいろいろな改革を進めましたが、スムーズにいかないこともありました。開国によって新知識を身につけた人たちは、自由民権運動を起し政府と対決します。

また、政府の政策変更によって、これまでの生活を続けることができなくなった人たちもいました。榛名山中野秣場運動は、これまで住民が共有地（入会地）として使っていた秣場を、植林・牧畜・開墾以外には使ってならないという政策に反対する運動でした。

政府は、廃藩置県によって藩をなくし、県を置いて中央集権体制を確立していきます。しかし、府県設置や県庁位置問題は二転三転しました。群馬県設置の時、はじめ県庁は旧高崎城に置かれていましたが、そこに軍隊が置かれたため、前橋に移りました。

第二次群馬県が設置される時、県庁ははじめ高崎に置かれました。旧高崎城は軍隊がいたため、分散して県政を執りましたが不便でした。ちょうど地租改正の事業が実施される時と重なったため、県庁は前橋に移りました。地租改正が終われば、高崎に県庁を戻すという話でしたが、高崎には戻りませんでした。

高崎では県庁移転反対騒動が起こります。県庁移転反対問題は、自由民権運動とも強い関係を持ち、政府の政策に反対する運動として激しくなりました。

これらの問題は、いずれも明治の10年代に起こっています。政権の基盤がしっかり確立せず、政策が朝令暮改的であった時代に起きたのが特徴でした。

問31

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

明治時代に、高崎では水道敷設が急がれ、高崎歩兵第十五連隊も水道の敷設を求めましたが、計画は遅れました。初代高崎市長・矢島八郎は【ア】を示し、高崎市の重点政策の一つに水道の敷設を盛り込みました。

1910（明治43）年11月、群馬県で初の浄水場・剣崎浄水場が建設され、市政の課題となっていた上水道が完成し、高崎公園で竣工式典が行われました。

戦後、倉賀野町との合併、キリンビール誘致により若田浄水場が建設されました。この二つの浄水場は現在も現役で稼働し、【イ】が特徴となっています。

- ア (1) 高崎市是 (2) 大高崎建設の檄文
(3) 高崎市総合計画 (4) 十五町連合町会区域
〔正解 1〕

- イ (1) 急速ろ過方式 (2) 緩速ろ過方式
(3) 膜ろ過方式 (4) 消毒のみの方式
〔正解 2〕

●解説

1900（明治33）年に高崎市制が施行され、初代市長矢島八郎は水道敷設を最優先事業として取り組みました。1906（明治39）年6月、矢島市長は、これから高崎市が進むべき基本方針である高崎市是の演説を高崎市会議場で行いました。市是には、本格的な上水道の完成、公園の整備、伝染病院、市役所、学校の建設、道路や電灯の設置などが盛り込まれました。この時、市会議員として議場で矢島市長の演説を聞いていた井上保三郎は、市是の実現に全力で取り組むことを決意したそうです。

剣崎浄水場の工事は井上保三郎が請け負い、1910（明治43）年11月に群馬県初の上水道が完成しました。剣崎浄水場は、当時の最新の技術を導入した緩速ろ過方式で、「砂ろ過」と「生物ろ過」を組み合わせ、浄水の製造過程では、薬品を一切使用せず、20時間という長い時間をかけた自然流下でろ過しています。

若田浄水場は、倉賀野町へのキリンビール工場進出と倉賀野町・高崎市の合併を背景に建設され、1964（昭和39）年12月に通水しました。若田浄水場も緩速ろ過方式で、剣崎浄水場とともに現在も稼働し、「高崎のおいしい水」を供給しています。

問32

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか

昭和の初期におこった経済更正運動は、【ア】による農山漁村の窮状を打開するため、村の自力更生を図った運動で、1932（昭和7）年から約10年間にわたって実施されました。群馬県の産業は養蚕製糸業のウエイトが高かったため、養蚕製糸に力を入れていた農民達も大きな打撃を受けました。高崎の地域では、第一段階で、旧群馬郡新高尾村、旧碓氷郡八幡村、旧多野郡【イ】が指定村となりました。これらの村は先進的な村で、役場・農会・農事実行組合・学校などを総動員して村々の経済的社会的建て直しを進めて行きました。

- ア （1）五・一五事件 （2）関東大震災
（3）金本位制 （4）昭和恐慌

〔正解 4〕

- イ （1）多胡村 （2）並榎村 （3）里見村 （4）烏淵村

〔正解 1〕

●解説

1929（昭和4）年、アメリカのウォール街の株価が大暴落し、世界恐慌が起きました。日本にもその影響がおよび、昭和恐慌と呼ばれる大不況になりました。生糸・米・麦などの価格が暴落し、不景気は全国的に及ぶのですが、群馬県などは養蚕製糸業が生産の主要な位置を占めていたため、恐慌の打撃は大きく、生活は極端に厳しくなりました。

経済更正運動は、こうした農山漁村の窮状を救うため、1932（昭和7）年から実施されました。各村は経済更正計画をたてて、生産を上げ、むだな費用を省き、生活を安定させるために懸命に努力しました。

高崎の地域でも、旧新高尾村・旧碓氷郡八幡村・旧多野郡多胡村などが指定村になりました。模範的に経済更正を実現するためでした。もちろん、他の村も経済更正運動に努力しました。村役場・農会・農事実行組合（産業組合）・小学校などが総動員され、生活の建て直しを図ったのでした。

問 3 3

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

倉賀野の町長をしていた松本勘十郎^{まつもとかんじゅうろう}の養子が【ア】です。彼は高崎藩士飯野家の次男として生まれましたが、勘十郎の娘糸^{いと}とキリスト教式の結婚式をあげ、松本家を継ぎました。彼はアメリカ・ヨーロッパに留学して学び、国内でも研究を続け、【イ】の大家となりました。のちに東京帝国大学の教授となり、日本心理学会の会長にもなり、心理学の応用および指導者の養成に貢献しました。

- ア (1) 松本亦太郎^{またたろう} (2) 松本勘三郎^{かんざぶろう}
 (3) 松本玉太郎^{たまたろう} (4) 松本幸四郎^{こうしろう}

〔正解 1〕

- イ (1) 倫理心理学 (2) 宗教心理学
 (3) 実験心理学 (4) 電子心理学

〔正解 3〕

●解説

松本亦太郎は、高崎が生んだ有名な心理学者です。亦太郎は、高崎藩士飯野家の次男として生まれ、倉賀野町の町長や製糸会社光塩社の社長であった松本勘十郎の娘糸^{いと}と結婚して、松本家を継ぎました。松本家がクリスチャンファミリーであったため、この結婚式はキリスト教式で執り行われました。

亦太郎は、同志社英学校の初期の学生で、東京帝国大学文学部哲学科を卒業し、その後アメリカのイェール大学、ドイツのライプツィヒ大学に学び、研究を続けました。のちに京都帝国大学教授、東京帝国大学教授となります。彼の研究の中心は実験心理学で、日本における実験心理学の基礎を築きました。

定年退官後は、日本心理学会を創設しその会長となって活躍しました。

問34

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

「ききしのみまだ見ぬ国に神しあれば 行けよ我が子よ何おそるべき」と、父親から激励されて、内村鑑三は【ア】に渡り、アマースト大学でキリスト教神学を学ぶなど1884（明治17）年から3年間余苦学して帰国した後、無教会主義・福音主義の伝道者・教育者として活躍しました。なかでも雑誌『聖書之研究』を1900（明治33）年から30年間にわたり357号まで発行し、非戦論を唱えました。

内村鑑三の最晩年に病気を見舞い、「上州人」の漢詩を受け取った【イ】天来は、キリスト教社会主義の立場から平和非戦論を唱え、1927（昭和2）年から1939（昭和14）年まで刊行した雑誌『聖化』で主張しつづけました。

その甥で経済学者の【イ】悦治は、敬愛する天来の伝記刊行を念願しましたが、新島襄の創立した【ウ】大学総長に選ばれ、激務で研究・執筆の時間をとることができず断念したといえます。

ア （1）アメリカ （2）イギリス （3）ドイツ （4）フランス
〔正解 1〕

イ （1）住谷 （2）隅谷 （3）角屋 （4）墨谷
〔正解 1〕

ウ （1）同志社 （2）国際キリスト教
（3）立教 （4）立命館
〔正解 1〕

●解説

高崎藩士内村^{よしゆき}宜之の長男内村鑑三は、高崎英学校に学び、設立されたばかりの札幌農学校に入学しました。そこで新渡戸稲造らと交流し、キリスト教に入信し、両親や親族にも布教して改宗させています。卒業後、鑑三にとって理想的なキリスト教国であるアメリカに赴く際に、攘夷派であった宜之も神のめぐみを期待して鑑三に送別の歌を詠みました。

しかし拝金主義、人種差別の資本主義国の現実のなかで苦学し、新島襄の紹介でマサチューセッツ州アマースト大学を卒業し、そのほか神学校などでも学びましたが、失望し帰国しました。鑑三は福音主義信仰と無教会

主義を唱え、『聖書之研究』を創刊するなどキリスト教の研究、伝道につとめ、1930（昭和5）年に死去しました。

住谷天来は国府村東国分の豪農の次男に生まれ、前橋教会で洗礼を受け、上毛青年会に所属して東京で学んだ後、上毛共愛女学校の教員となりましたが、退職し上京してジャーナリストになりました。このころ内村鑑三と出会い、『聖書之研究』に「墨子の非戦主義」を寄稿し、非戦論を主張しました。病気のため帰郷し、伊勢崎教会、甘楽教会などの牧師となり、個人雑誌『聖化』を1927（昭和2）年から日中戦時期の1939（昭和14）年まで刊行し、非戦平和を主張しました。死の1か月前に見舞った住谷天来に内村鑑三が贈ったのが有名な「上州人」の漢詩です。

天来の甥の住谷悦治は、前橋中学校卒業後叔父天来から洗礼を受け、東京大学では吉野作造に師事し、社会主義経済学者になり、同志社大学法学部に奉職しましたが、治安維持法により逮捕されました。戦後になり同大学教授に復職し、1963（昭和38）年から同大学総長に選ばれ、3期12年間勤続しました。住谷悦治の思想系譜は内村鑑三と住谷天来が底を貫いており、住谷天来伝執筆をライフワークとしましたが、総長勤続のために実現できなかったことが残念であると回顧しています。

問35

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

キリスト教徒の民衆詩人山村暮鳥は、旧【ア】出身で秋田県などでキリスト教を布教し、茨城県大洗町で死去しました。「おうい【イ】よ ゆうゆうと 馬鹿にのんきさうぢやないか どこまでゆくんだ ずっと磐城平いはきたひらのほうまでゆくんか」の詩が有名です。

詩集『聖三稜玻璃せいさんりょうはり』にある、いちめんの【ウ】をうたった「風景純銀もざいく」の詩碑は、土屋文明記念文学館前庭に2001（平成13）年に建設されました。そのほか前橋児童公園、中央大橋西袂、伊香保町水沢観音仁王門や死去した茨城県大洗町などに詩碑があります。

ア （1）倉渕村 （2）群馬町 （3）榛名町 （4）箕郷町
〔正解 2〕

イ （1）鳥 （2）雲 （3）凧 （4）蝶
〔正解 2〕

- ウ (1) くわのは (2) なのはな
(3) ひまわり (4) むぎぼたけ

[正解 2]

●解説

山村暮鳥は西群馬郡棟高村（旧群馬町）に1884（明治17）年に生まれました。家庭的に恵まれませんでした。堤ヶ岡尋常小学校の代用教員となり、前橋の聖マッテア教会の英語学校に通いました。同教会の宣教師とともに群馬を去り、東京の聖三一神学校に学び、卒業後伝道師として秋田、仙台、水戸、福島などで布教活動をしました。在学中から短歌、近代詩などの創作活動を続け、萩原朔太郎らと文芸雑誌を創刊したり、『上毛新聞』や県内発行の雑誌に投稿したりして県内の文学者とも交流しました。詩風はロマン主義、象徴主義から平易な表現の牧歌的な人道主義に変化しました。病気の苦しみから伝道活動を断念し、貧苦のなかで詩や童話・小説など文学創作活動に専念しましたが、1924（大正13）年、茨城県大洗町にて死去しました。

詩集に『三人の処女』、『聖三稜玻璃』、『風は草木にささやいた』、『梢の巢にて』、『雲』があり、なかでも『聖三稜玻璃』に収録した「風景 純銀もざいく」と、『雲』に収録した「雲」などは有名です。

問36

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

町村合併による新町村名は、旧町村名の一部の文字を採用した合成地名がみられます。次もその事例です。

1889（明治22）年に西群馬郡高関村、江木村、岩押村、貝沢村と【ア】村の一部を合併して塚沢村が誕生しました。1927（昭和2）年に片岡村とともに高崎市に合併しました。

1955（昭和30）年に群馬郡【イ】町と車郷村を合併して箕郷町が成立しました。2006（平成18）年1月に倉淵村・群馬町・新町とともに高崎市に合併しました。

- ア (1) 飯塚 (2) 高塚 (3) 塚田 (4) 塚本

[正解 1]

- イ (1) 御門 (2) 箕吹 (3) 御蔵 (4) 箕輪

[正解 4]

●解説

1889(明治22)年に全国一斉に町村合併が行われましたが、市域では高崎町、倉賀野町、多野郡新町が単独で自治体を維持し、それ以外は30町村が合併により誕生し、合計33町村が成立しました。その後、平成の市町村合併では2006(平成18)年に倉渕村、箕郷町、群馬町、多野郡新町、榛名町、2009(平成21)年に吉井町を合併し、33町村すべてが高崎市の一部になりました。

実現した町村名は主要町村の名称や山川名、古来の通称などを採る事例が多いのですが、合成地名もありました。塚沢村は飯塚村の一部と貝沢村・岩押村・江木村・高関村とが合併したので、飯塚と貝沢から1字ずつ採って村名としました。1927(昭和2)年に高崎市に合併し、塚沢村となる前の旧村名は大字名として残りました。

昭和の市町村合併でも合成地名があり、倉渕村は倉田村と烏淵村から、箕郷町は箕輪村と車郷村から一字ずつ採りました。地名としては江戸時代以来の村名が大字名に多く残り、共同体の結びつきの強さを見せています。昭和の合併による町村名は倉渕町、新町、箕郷町、吉井町は住所表示に存続しましたが、明治期の町村名は公式の名称からは除外され、学校名、公民館名などに多く残っています。

問37

次の文章のうち、【 】に適するものは、下の選択肢のどれでしょうか。

生糸を生産する蚕の飼料である桑について、1923(大正12)年3月31日に、国の農商務省農務局から発行された「桑の種類に関する調査」によると、原産地が群馬県の品種名が37種記載されています。この内【 】は、江戸時代の文政年間(1818~1830年)頃から鐮川下流で盛んに栽培され、その後昭和のはじめまで、県内第1位の栽培面積となり、群馬県の養蚕飼育に大きく貢献した桑です。

- (1) 群馬赤木 (2) 采女桑 (3) 多胡早生 (4) 板東

[正解 3]

●解説

養蚕飼育に使用する桑の多胡早生は、1923（大正12）年3月31日に、国の農商務省農務局から発行された「桑の種類に関する調査」によると、江戸時代文政年間（1818～1830年）頃から鐺川下流で盛んに栽培された桑であることが記されています。その後昭和のはじめまで、県内第1位の栽培面積となり、群馬県の養蚕飼育に大きく貢献した桑です。

問38

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

1934（昭和9）年から烏川河川敷のアカシア林を整地して建設された【ア】野球場は、1936（昭和11）年に完成しました。中等学校野球大会（戦後には高等学校野球大会と改称）が開催され、甲子園出場をめざす群馬県大会の熱戦を春夏秋にくりひろげ、多くの球児とその応援団を見つづけました。

また、ジャパンカップ国際女子ソフトボール大会が2016（平成28）年から開催され、社会人野球、埼玉西武ライオンズ主催のイースタン・リーグ公式戦などのほか、群馬ダイヤモンド【イ】の本拠地になり、プロ野球独立リーグ・ベースボール・チャレンジ・リーグ（ルートインBCリーグ）公式戦が開催されています。

ア （1）城東 （2）城西 （3）城南 （4）城北
〔正解 3〕

イ （1）サンダーバーズ （2）ブレーブス
（3）ベアーズ （4）ペガサス
〔正解 4〕

●解説

第一次世界大戦後の平和と国際交流との風潮のなかで、大正期に近代スポーツが普及しました。高崎では野球における関心が強く、高崎野球協会は広く市民に募金を呼び掛け、1923（大正12）年、佐野村新後閑に群馬県最初の球場である高崎球場を開設しました。しかし、昭和初期の不況や内野の木造スタンドの老朽化など維持管理が困難となり、市営の野球場設立を要望する声が高まりました。

1930（昭和5）年、市営球場建設案が市会で可決され、1933（昭和8）年に再建された高崎市体育協会が中心となって市営球場建設に取り組み、1934（昭和9）年に下和田町の烏川河川敷を整地して建設に着手し、1936（昭和11）年に3千人収容の内野スタンドをそなえた市営城南球場が完成しました。落成記念に高崎、前橋、桐生の3中学校と高崎商業との4校対抗試合を開催し、内野スタンドは超満員となりました。

その後、高校野球地区予選やソフトボールジャパンカップ国際女子ソフトボール大会が2016（平成28）年から開催され、社会人野球、埼玉西武ライオンズ主催のイースタン・リーグ 公式戦なども開催しています。高崎市城南野球場は高崎財団が運営し、収容人員は観覧席5千人、外野芝生席7千人です。ビッグカメラ女子ソフトボール高崎 BEE QUEEN、太陽誘電ソルフィエユの両チームのホームスタジアムです。

2008（平成20）年にダイヤモンド・ペガサスが設立され、プロ野球独立リーグ・ベースボール・チャレンジ・リーグ（ルートイン BC リーグ）に加盟し、城南球場を本拠地として活躍しています。東地区に所属し2018（平成30）年前期後期ともに優勝しました。

問 39

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

箕郷地区は、榛名山の噴火による火山灰で覆われた扇状地で、水はけが良すぎたために古くから灌漑用水かんがいの確保にたいへん苦勞してきました。そこで、県議会議員であった竹腰徳蔵たけこしとくぞうは、この一帯の水不足を解消するため、車郷村（当時）に貯水池を建設する計画を立てました。そして、1938（昭和13）年から足かけ13年の歳月をかけ、1950（昭和25）年に農業用の貯水池として完成したのが、【ア】（箕郷町富岡）です。この水は、現在、箕郷地域のほか、群馬地域、高崎旧市内でも灌漑利用されているほか、【イ】、貸しボートなど多くの人に親しまれています。

ア （1）御布呂が池 （2）三名湖 （3）鳴沢湖 （4）三ツ寺堤
〔正解 3〕

イ （1）遠泳大会 （2）ボートレース
（3）養鯉 （4）ワカサギ釣り
〔正解 4〕

●解説

鳴沢湖は、昭和の初め、水不足に悩まされてきた箕郷地域に灌漑するために建設された貯水池で、現在は群馬中部土地改良区により維持管理されています。

貯水池建設計画は、当時地元の県議会議員であった竹腰徳蔵によって計画され、県の事業として1938（昭和13）年から、貯水池の築造のほか、取水口、幹線水路等の建設が始まりました。機械力のない時代で、戦時中の労働力確保にも苦しみながらも延べ10万人の労力を費やし、1950（昭和25）年まで足かけ13年の歳月をかけ完成しました。

現在でも灌漑利用されているほか、貸しボートもあり、ワカサギ釣りに多くの人を訪れます。また、2018（平成30）年8月には湖を一周する全長約2600メートルの遊歩道も全線開通しています。

問40

次の文章のうち、【 】に適するものは、下の選択肢のどれでしょうか。

1934（昭和9）年、農村のリーダー養成を目的とした「群馬県立箕輪青年道場」が設立されました。青年道場はその後、「県立箕輪修練農場」「県立箕輪高等農業講習所」などと名称を変えつつ、高い農業技術の習得と近代化を目的とした農業教育が継続して行われてきました。

昭和50年代に入ると農業後継者の減少が深刻化してきたため、1983（昭和58）年に前橋市にあった「県立農業大学校」と統合して、群馬県立【 】となり、時代のニーズに対応した農業教育施設へと改編が図られました。現在、農業経営学科と農林業ビジネス学科の2学科があります。

- | | |
|------------|-------------|
| (1) 農業高等学園 | (2) 農業経営大学校 |
| (3) 農林大学校 | (4) 農業教育学校 |

[正解 3]

●解説

1934（昭和9）年、うっそうとした原野や山林だった場所を切り開き、農村のリーダー養成を目的とした「群馬県立箕輪青年道場」が箕郷町西明屋に設立されました。やがて、満州農業開拓移民訓練施設がつくられ、多

くの訓練生を大陸に送り出すとともに、戦時中は周辺の山林や荒地の開墾基地として食糧増産訓練が実施されました。

戦後になると、アメリカ方式の農場青少年クラブ活動が導入され、施設と教育の近代化が進められました。その後、農業の就業率や穀物自給率の低下などの諸問題に対応するため、質の高い農業後継者の育成が求められたことから、1966（昭和41）年に「県立農業高等学園」、昭和50年代には「農業経営大学校」と改称され、新たなスタートをきることになりました。

1982（昭和58）年には前橋市にあった農業大学校と統合され、「県立農林大学校」として、今の形に生まれ変わり、新たな農業の時代に対応した教育が実践されています。

問41

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

群馬の森は、明治100年を記念して旧陸軍岩鼻【ア】跡地に建設されました。

敷地内に1974（昭和49）年に開館した県立近代美術館は、磯崎新^{いそぎきあらた}の設計によるもので、日本建築学会作品賞を受賞しています。国内外の近代美術のほか、群馬県ゆかりの作家たちの作品、故井上房一郎氏の寄贈による日本・中国の古美術コレクション（戸方庵井上^{こほうあん}コレクション）など、現在約2000点の作品が収蔵されています。モネやルノワールの作品のほか、【イ】が反戦を主題として描いた有名な大作『ゲルニカ』のタペストリーも収蔵されていますが、これは世界に3点しかないものの一つです。

- ア (1) 火薬製造所 (2) 駐屯地
(3) 飛行場 (4) 練兵場

[正解 1]

- イ (1) ゴッホ (2) ピカソ (3) ダリ (4) ムンク

[正解 2]

●解説

群馬の森は、明治100年記念事業として、旧陸軍岩鼻火薬製造所跡地に建設された公園です。来園者が自由にくつろげる大芝生広場のほか、あそびの広場、わんぱくの丘、かたらいの丘、修景池、親水広場などが整備されています。また、園内には、1974（昭和49）年に県立近代美術館が、1979（昭和54）年に県立歴史博物館が、それぞれ開館し、県内外から多くの人を訪れています。

県立近代美術館には、ルノワール、モネ、ピカソをはじめとする国内外の近代美術や、群馬県ゆかりの美術のほか、日本と中国の古美術を中心とした戸方庵井上コレクションも所蔵されています。年4回テーマを設けた企画展示を開催し、また、講演会やワークショップなどのイベントも開催しています。

ピカソの『ゲルニカ』は、スペインの内戦に介入したナチスドイツがバスク地方の村・ゲルニカを無差別爆撃したことを主題とした作品で、スペインのソフィア王妃芸術センターに収蔵されています。県立近代美術館に収蔵されたタペストリーは、この絵をもとにピカソの指示にしたがって制作された3つのヴァージョンの内の3作目です。1作目はニューヨークの国際連合本部内に架けられ、2作目はフランスのウンターリンデン美術館に所蔵されています。

問42

次の文章のうち、【 】に適するものは、下の選択肢のどれでしょうか。

1983(昭和58)年10月、第38回国民体育大会（通称あかぎ国体）が群馬県で開催され、高崎市はバスケットボール、軟式庭球、フェンシング、ラグビーフットボールの会場となりました。この国体のため、高崎市は【 】、上並榎庭球場を整備しました。

現在【 】は拡張工事が進められており、ソフトボール場、テニスコート、サッカー場が建設される予定です。

- (1) 城南プール・城南競技場
- (2) 高崎市中心体育館
- (3) 浜川運動公園（浜川体育館・浜川競技場）
- (4) 高崎アリーナ

〔正解 3〕

●解説

1983 (昭和58)年10月に群馬県で行われた第38回国民体育大会は、「あかぎ国体」呼ばれ、大きな県民運動となりました。

高崎市はバスケットボール、軟式庭球、フェンシング、ラグビーフットボールの会場となりました。バスケットボール会場の浜川体育館、ラグビー会場の浜川競技場、軟式庭球会場の上並榎庭球場を整備するとともに、高崎経済大学に総合体育館を新築し、フェンシングのメイン会場としました。この国体を契機に市民のまちづくり意識が向上し「住みよい高崎をつくる市民運動」が高揚しました。

浜川運動公園の拡張工事はソフトボール場、テニスコート、サッカー場の建設を予定しており、2018 (平成30) 年度現在ではソフトボール場の建設が進んでいます。

問43

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

毎年元旦に開催されるニューイヤー駅伝で、高崎から主要地方道高崎・駒形線で利根川を渡って前橋市へ向かう橋は【ア】です。ここはかつて「萩原の渡し」、前橋市側からは「公田くでんの渡し」がありました。

この橋の脇には石碑があり、“ここにかつて対岸へ渡る「渡わたし」があった。…明治10年頃には12艘そうの船を置き板を敷き並べて、舟橋に改めたが、たび重なる出水により再び渡船わたしぶねとなった。その後、【ア】の完成により【イ】をもって廃止された。”とあります。

- ア (1) 昭和大橋 (2) 大正大橋
(3) 萩原大橋 (4) 公田大橋

[正解 1]

- イ (1) 大正7年 (2) 昭和27年
(3) 昭和37年 (4) 昭和47年

[正解 4]

●解説

利根川には渡^{わたし}が道路の代替として今日でも運行しています。

群馬県内では、邑楽郡千代田町と埼玉県熊谷市を結ぶ県道扱いで赤岩渡船（葛和田の渡し）と、伊勢崎市道扱いで、利根川により南北に分断された境島村を結ぶ島村渡船の2か所があり、共に乗船料は無料となっています。

主要幹線道路の昭和大橋ですが、意外に最近まで渡船で渡っていました。

問44

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

群馬交響楽団は、正会員団体数が全国で【ア】ある日本オーケストラ連盟正会員団体です。日本オーケストラ連盟正会員団体となるには、固定給与が支給されているメンバーによる2管編成以上のプロフェッショナル・オーケストラであることなど厳しい条件があります。

仙台フィルハーモニー管弦楽団のような名称もありますが、交響楽団は、主に19世紀以降のクラシックの管弦楽曲を演奏する目的で結成されています。

群馬交響楽団、仙台フィルハーモニーともに【イ】と、ポピュラーコンサート、依頼コンサート、学生向けのコンサートなど、地域に根ざした活動をしている音楽の専門家集団です。

ア (1) 25 (2) 55 (3) 105 (4) 205

[正解 1]

イ (1) 定期演奏会 (2) 月例演奏会
(3) 会員演奏会 (4) 一般演奏会

[正解 1]

●解説

交響楽団（フィルハーモニー管弦楽団）は、クラシック音楽のうち、主として19世紀以降の管弦楽曲を演奏する目的で編成された音楽家の集団で、作曲家が指定した楽器と編成で演奏します。

交響楽団は、指定通りの編成を自前の集団だけで演奏するには、多くの楽団員を雇用し続けなければならないので、曲によっては外から臨時の楽団員をエキストラとして呼ぶことになります。

このような交響楽団の事情から、日本オーケストラ連盟は正会員の条件として、固定給与が支給されているメンバー等、条件をつけて演奏水準、活動のあり方を求めて正会員としています。正会員25団体のうち、東京を拠点としているのは7団体で、地方都市での交響楽団は貴重な存在といえます。

群馬交響楽団は年間で10回の定期演奏会を開催しています。この「定期」という日本語は、定期的に演奏会を開催するという意味ではなく、英語のSubscriptionを訳したもので、定期購読とか予約などと辞書にあるように、むしろ予約演奏会とすると本来の意味に近くなります。

定期演奏会はオーケストラによる音楽芸術の追求といった面が強く、「これが私達、群馬交響楽団の音楽だ」と表明する芸術作品といえます。

問45

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

2018（平成30）年3月、昭和町の新島学園短期大学研究棟が登録有形文化財に指定されました。この建築物は、かつてこの場所にあった【ア】の円形校舎で1956（昭和31）年に建設されました。1981（昭和56）年に同校が移転し、新島学園短期大学が引き継ぎました。

登録有形文化財は文化財建造物を守り、地域資産として活用するための国の制度で、高崎市内では、他に【イ】、豊田屋旅館などが登録されています。

- ア （1）高崎市立女子高校 （2）群馬県立高崎女子高校
（3）高崎市立高崎短期大学 （4）群馬県立高崎商業高校

〔正解 1〕

- イ （1）上野三碑 （2）白衣大観音
（3）乾櫓 （4）長野堰

〔正解 2〕

●解説

登録有形文化財は、1996（平成8）年に設けられた国の文化財登録制度で、建築物、土木構造物及びその他の工作物（重要文化財及び文化財保護法に規定する指定を地方公共団体が行っているものを除く）のうち、原則として建設後50年を経過し、「国土の歴史的景観に寄与しているもの」、「造形の規範となっているもの」、「再現することが容易でないもの」のいずれかに該当することが登録基準となっています。

登録数は全国で1万件を超え、高崎市内には21件の登録有形文化財が登録されています。吉田家住宅和泉庄御殿（昭和2）、高崎白衣大観音像（昭和11）、小見家住宅（水村園）新蔵他（明治期）、豊田屋旅館本館（昭和7）、一宮家住宅（般若坊）主屋他（江戸期）、日本聖公会高崎聖オーガスチン教会聖堂（昭和4）などがあり、2018（平成30）年5月に、新島学園短期大学研究棟（旧高崎市立女子高等学校円形校舎）が登録されました。

こういった登録有形文化財は地域の財産であり、まちづくりや観光などへの活用が期待されています。

問46

次の文章のうち、【 】に適するものは、下の選択肢のどれでしょうか。

児童数の減少により、2011（平成23）年に倉渕東小学校、倉渕中央小学校、倉渕川浦小学校の3校が統合され倉渕小学校となりました。倉渕中央小学校の学校施設が倉渕小学校として使われ、高崎市は廃校となった倉渕東小学校、倉渕川浦小学校の活用を地域と話し合ってきました。

高崎市は倉渕川浦小学校跡地に山村留学施設【 】を整備し、2018（平成30）年度に開校しました。寮内では年間を通して英語で生活するのが特徴で全国初となり、小中学生を対象に全国から留学生を募集し、話題となりました。

- (1) くらぶち英語村 (2) はまゆう山荘
(3) クラインガルテン (4) くらぶち小栗の里

〔正解 1〕

●解説

「くらぶち英語村」は小中学生を対象とした英語で生活する山村留学施設で、廃校となった倉渕川浦小学校の跡地を活用し、2018（平成30）年4月に開校しました。

子どもたちの寄宿舍（寮）は、地元産材を活用した木の温もりがあふれる2階建ての建物です。子どもたちは、外国人スタッフとともに様々な生活や体験活動を英語で行い、実践的な英語力と「自立心」「思いやりの心」、「生きる力」を育みます。

くらぶち英語村に留学する小中学生は全国から募集し、応募者多数の高倍率になりました。

くらぶち英語村は少子高齢化と人口減少など地域課題を解決していく施策としても注目され、倉渕地域の活性化に貢献しています。

高崎学検定委員会